

NEWS LETTER

2006

学長挨拶

ブルース ストロナク



はじめに、公立大学法人横浜市立大学後援会皆様の大学へのご支援に、心より感謝を申し上げたいと思います。私は大学と言うものをひとつのcommunityと信じており、公立大学法人横浜市立大学後援会は、私たちcommunityのとても重要な要素のひとつです。

横浜市立大学は公立大学法人として、ようやく2年目に入ったばかりですが、入学志願者の増加、広がる国際交流、研究助成金取得など、すでに多くの結果を出しています。横浜市立大学のような複雑な機構を持つ大学の改革は、決して容易なものではありません。確かな成果を得る為には、community全ての人々が力をあわせることが必要です。また、皆様のご支援により横浜市立大学の歴史は創られ、さらなる発展へとつなげることができるのです。今後とも、ご支援を受け賜りますよう宜しくお願い致します。

資格取得にチャレンジ 商学部4年 金沢真佑子



TOEICの助成をしていただきました。在学中に力を入れてきた英語学習の成果を確認するために、1年生の時から毎年2回のペースで受け続けています。

TOEICは、英語力そのものが試されることはもちろんですが、時間配分や集中力をいかに持続させるかなど、試験中の戦略も点数に大きく関わってきます。ですから、学年の早いうちから何度も受験し、テストに慣れることが非常に重要です。そして、このスコアが就職活動で大いに役立ちました。面接では、学生がどのような人物であるのかを見極めるために、多くの企業で「学生時代にかんばってきたこと」を聞かれます。私は英語の学習に力を入れてきたことを挙げました。その際、TOEICのスコアによって説得力が増しました。企業の方々にお褒めの言葉を頂くと、努力が形になったような気がして、とてもうれしかったのを覚えています。みなさんも学生時代の今、時間に余裕があるうちに、助成制度を使って資格取得に励んでみてはいかがでしょうか？

資格取得支援事業

上海語学研修に参加 国際文化学部3年 寺田早斗子



私は2005年8月の1ヶ月間、横浜市立大学後援会と横浜市から補助を受けて、上海師範大学への語学研修に参加させていただきました。私にとって今回の研修は初めての海外旅行であったこともあり、短い期間でしたが、

その1ヶ月間上海で見・聞き・肌で感じた体験は単調に日本で生活していたら絶対には得ることの出来ない、意義のあり濃いものでありました。少し大げさに言うと、もしも上海に行っていなかったら今の生活や進路、中国に対する価値観も全く違っていただと思います。それほど、日本を離れて異国で生活することが与える影響の大きさというものを痛感しました。特に、大学生の間にこのような体験をすることは、将来について考える時に視野や選択肢を広げる良いきっかけになるのではないのでしょうか。学べるのは語学だけではありません。今年の8月も友人や先輩がこの制度を利用して上海へ語学留学しています。メールで近況を聞いてみるとやはり充実した毎日を送っているようです。海外にホームステイや留学をするととなると費用がかかってしまうことがネックになって断念してしまう人も多いと思いますが、これから中国語あるいは中国と言う国に対して少しでも興味のある人にとって参加してみる価値のある素晴らしい研修制度です。

海外研修支援事業

この度、横浜市立大学後援会はニューズレターを発行することといたしました。

学生の勉学や資格取得、課外活動や就職活動など学生生活の多岐にわたる後援会の支援活動を、保護者の皆様、卒業生・教職員の皆様にお知らせしてまいります。

公立大学法人 **横浜市立大学後援会事務局**

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2 横浜市立大学内

TEL:045 (787) 2396 e-mail:yamada@hamakko.or.jp



会長挨拶

宇南山 英夫



昨年、横浜市立大学は公立大学法人となり、今世紀の変革の時代に対応できる人材の育成に取り組まれています。横浜市立大学後援会は、この新しい時代に向けて大学の歴史を刻んでいる日々の教育活動を支援してまいります。

このように大学を取り巻く環境が激変する中において、学生の生活面も組み入れた真の教育を実現するためには、課外活動の充実や、生活環境の整備など、学生の学業や進路指導等の支援は、ますます必要となってきております。学生に対し、これらの有効かつ充実した助成を実施するためには保護者・教職員・卒業生等が相互に連帯感を強め、支援することが不可欠です。

つきましては誠に恐縮に存じますが、このような状況をご理解いただき、市立大学に学ぶ学生のキャンパスライフがより多いものとなりますよう後援会会員としてご支援くださいますことを心よりお願い申し上げます。

まことに勝手ながら、振込票を同封させていただきましたのでご入会いただきますようお願いいたします。

末筆ながら、皆様の今後一層のご健康とご発展をお祈り申し上げます。

入会及び会費

年会費 **3,000円**以上（一口1,000円 3口以上）

納入方法 **郵便振込**（同封の振込用紙をご利用下さい）

公立大学法人横浜市立大学後援会会則（抜粋）

（目的及び事業）

第2条 本会は横浜市立大学学生の教育研究事業および学生生活の支援等を行うことを目的とする。

（会員及び役員等）

第3条 本会は次の会員をもって構成する

- (1) 横浜市立大学に在学する学生（医学部2年次以上及び医学研究科を除く）の保護者
- (2) 横浜市立大学の教職員及び退職者並びに卒業生で本会の事業を支援する者
- (3) 本会の事業を賛助するもの



浜大祭

学生活動助成事業



関東甲信越体育大会結団式



関東甲信越体育大会参加助成事業

キャリアネットワークフォーラム



就職活動支援事業

平成18年度 事業計画および予算

学生活動助成事業
学習助成事業
資格取得支援事業
海外研修支援事業
就職活動支援事業
特別講義助成事業

研究調査助成事業
関東甲信越体育大会参加助成事業
卒業生送別会事業
入学式保護者懇談会補助事業
福利事業

一般会計

（単位：円）

科 目	18年度	前年度	差 異
【収入の部】			
会費収入（学部・院）	40,536,475	45,005,000	△4,468,525
会費収入（年会員）	500,000	0	500,000
雑収入	500	1,000	△500
当期収入合計	41,036,975	45,006,000	
前期繰越収支差額	9,964,472	15,118,036	
収入合計	51,001,447	60,124,036	
【支出の部】			
学生活動助成費	13,000,000	15,400,000	△2,400,000
学習助成費	13,000,000	23,000,000	△10,000,000
資格取得支援費	500,000	2,000,000	△1,500,000
海外研修支援費	4,000,000	6,000,000	△2,000,000
就職活動支援費	2,500,000	2,700,000	△200,000
特別講義助成費	500,000	1,000,000	△500,000
研究調査助成費	1,400,000	2,000,000	△600,000
関東甲信越体育大会助成費	2,000,000	1,000,000	1,000,000
卒業生送別会費	1,800,000	2,000,000	△200,000
入学式保護者懇談会費	800,000	0	800,000
福利費	350,000	800,000	△450,000
会議費	750,000	1,000,000	△250,000
通信費	500,000	500,000	0
雑費	1,400,000	1,000,000	400,000
繰出金	5,000,000	0	5,000,000
寄付金	0	1,000,000	△1,000,000
予備費	3,501,447	724,036	2,777,411
当期支出合計	51,001,447	60,124,036	
当期収支差額	△9,964,472	△15,118,036	
次期繰越収支差額	0	0	

教育設備整備資金特別会計

（単位：円）

科 目	18年度	前年度	差 異
【収入の部】			
繰入金	5,000,000	0	5,000,000
当期収入合計	5,000,000	0	
前期繰越収支差額	13,082,898	25,000,000	
収入合計	18,082,898	25,000,000	
【支出の部】			
運動設備整備費	0	15,000,000	△15,000,000
当期支出合計	0	15,000,000	
当期収支差額	18,082,898	△15,000,000	
次期繰越収支差額	18,082,898	10,000,000	